

2017年7月23日 主日礼拝

司 会 ①村上洋兄 ②島田兄 ③小嶋兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②綴木兄

賛 美 聖歌687番「まもなくあなたの流れのそばで」
(655番「主がついてれば」)(み手の中で)

使徒信条

聖 書 ①② 創世記22章1～14節 (P25)
③ 使徒行伝27章18～25節 (P229)

音 楽 Cloud By Day (森屋崇兄・菅原与主愛兄)

メッセージ ①② 「神の究極の備え」 梶山直樹先生
③ 「元気を出しなさい。あなたには希望がある。」
大川従道牧師

賛 美 「み国に住まいを」(638番・献金)

頌 栄 「シャローム・シャローム」 アーメン
(日野原重明先生ご召天)

祝 禱

「だから、皆さん、元気を出しなさい。万事はわたしに告げられた
とおりに成って行くと、わたしは、神かけて信じている。」
(使徒行伝二十七の二十五)

【大和ニュース】

- * 本日、横浜都筑のニュータウン・カルバリーフェローシップの梶山先生をお迎えできて感謝です。先生とご家族のため、そのお働きのためお祈り下さい。
- ・ 洗礼準備会(9時)、アブラハム会、SS教師会、J. Plus(青・学・中高生)あり。
- * 今年も半年守られたことを感謝し、「上半期感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。

- * 今週水曜日の祈禱会はラブソナタに合流。②木曜朝には韓国オンヌリ教会から牧師と信徒47人ご出席。(昼食はなし) ③金曜夜は梅津伝道師。
- ・ 東京国際フォーラムのゴスペルナイト(火曜夜7時)は、招待状不要。
- ☆ご結婚おめでとうございます。足立様と吉里様。29日(土)14:30
- ☆来週は「東京カルバリーチャペル」。午後5時。ハイアットホテル。説教は大川牧師。

石の枕

日本中の皆に愛され尊敬されたキリスト者「日野原重明先生」が、主のみもとに召された。享年105歳。18日午前6時33分。呼吸不全のため亡くなったと、全ての新聞が一面で報じ、そのエピソードが証詞された。

私たちにとっての想い出は、この泉チャペルの「落成記念特別講演会」に、井上ひさし氏、三浦光世氏と共にご講演下さったことである。2000年5月。

私にとっては、心筋梗塞で緊急入院した際、病室に来て下さり、優しいお声をおかけくださったことは忘れがたいことです。2008年11月10日。

あれから「不整脈」「肺炎」等の病気で手術や治療で聖ルカ病院にはお世話になったが、その度に古川Dr. 沼口Dr. (カルバリーチャペル教会員)にお助けいただいた。今もお薬(新約と旧約以外)をいただいているが、皆様の熱い祈りに支えられている。ステント4本の逞しい鉄の男?になりました。

日野原先生は「赤軍派にハイジャックされたよど号」に乗り合わせ、命の危険を体験されてから、献身を新たにされ、「残された自分の命は社会のため、人のために使うのだ」という使命感が強くされた、と語っておられる。

先生の語録は、後世に残り、「生きかた上手」を教え続けてくれるだろう。

「年をとること自体が未知の世界に一步ずつ足を踏み入れていくこと。こんなに楽しい冒険はない」

「延命治療は望まない」と人工呼吸器や胃ろうをつけることも拒んだ。

「死とは生き方の最後の挑戦！」

「創(はじ)めることを止めないかぎり、人は青年である。」

先生とは、ホテルの晩餐会等では度々、同じテーブル。ベーチェオルさんのコンサートでは、手のとどく距離に着席し、ご挨拶もその度にでき、そのあたたい握手と共に優しい声を忘れられない。その食欲もスゴカッタ！

たえず考え、たえず新しいことに挑戦する姿勢が、先生を若々しくさせ、最期までオボケにならなかった要因であろう。私たちも学びたいことである。

しかし何よりも素晴らしいことは、主のご愛を知り、主に仕えるように人々にお仕えされたこと。すべては主の恵み！先生！ありがとうございました。全ての栄光は主のもの！心からの感謝をお捧げいたします。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:詩篇38篇~58篇 Bコース:使徒行伝23章~28章